

平成 16 年度環境科学センター研究推進委員会課題評価結果

1 特定研究

「事業所周辺における大気環境リスクの推計に関する研究」(新規課題)

[総合評価とコメント]

地域における化学物質のリスク評価を実施していくために、基本的な知見となる重要な研究である。住民への情報公開、リスク低減への施策づくりなどに活かすことができる信頼度の高い成果を期待しています。

エミッションイベントリーを PRTR に基づき実施する意義は大であり、地域メッシュに整理すれば行政施策に対し、及び住民情報として重要なものとなる。また、環境における濃度動態の解明も不可欠な研究課題と言える。

しかし、これらをつなぐ拡散計算には未だ検討の余地は残されており、これにどう対応するかが課題である。

地域のデータとして非常に重要な課題であると思います。実際の測定結果とモデリングによる予測が合わない場合どうするかという指摘がありましたが、モデリングの際の誤差を表示できれば、この問題にある程度対処できると思われれます。頑張ってください。

排出量 拡散モデル 現地モニタリングデータを相互に関連づけながら研究を進めて欲しい。特に大気中の濃度が薄い物質を対象とするので、拡散モデルの検証が難しい状況もあるかと思われるので、短期的な予測で合わせ、それを年に使うなど工夫が必要かもしれない。

重要な課題への取り組みを評価します。成果を活かすに、事業者や住民への情報提供が大切だと思いますので、これにふさわしい成果が得られることを期待します。

これまでの関連課題の作業が十分なされているようであり、これをベースにして実効性が高いと思われる。成果を期待したい。ただし、成果を現実の場での問題解決に結び付けるには別途十分な検討が必要と思われる。合わせて検討されたい。

(数値的評価)

評価者 6 名

< 評価の内容 >	< 評価項目 >	< ランク >				
課題設定の妥当性	背景と必要性	5 (6 人)	4 (0 人)	3 (0 人)	2 (0 人)	1 (0 人)
	優先性	5 (5 人)	4 (1 人)	3 (0 人)	2 (0 人)	1 (0 人)
計画の立案と実施法	研究内容	5 (5 人)	4 (1 人)	3 (0 人)	2 (0 人)	1 (0 人)
	計画の妥当性	5 (3 人)	4 (3 人)	3 (0 人)	2 (0 人)	1 (0 人)

ランクは、5 点満点の評価で 5(優)～1(劣)